


令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立水元小合学園	肢体不自由・知的障害	基	通学区域	就業技術科:都内全域、肢体不自由教育部門:葛飾区内京成押上線以北																
	校訓「日々前進」「毎日真心」 One Day One Plus+				本	進路実績	就業技術科:企業内定100% 肢体不自由教育部門(高等部):希望する進路100%															
基	所在地	〒125-0032 葛飾区水元一丁目24番1号	電話番号	03-5699-0141		情	教	育	課	程	特	徴	①	肢体不自由教育部門と就業技術科併置のメリットを生かした教育活動の充実								
	アクセス	(1) JR常磐線金町駅から京成バス水元三丁目行きふれあいの家下車すぐ (2) JR亀有駅から東武バス水元総合スポーツセンター行き終点下車徒歩3分 (3) JR綾瀬駅から東武バス水元総合スポーツセンター行き終点下車徒歩3分											②	児童・生徒による社会貢献活動の推進								
本	設	置	学	部	報	情	状	実	施	況	学	校	評	価	③	外部専門員を活用した個に応じた専門性の高い教育や相談支援の推進						
															幼児・児童生徒数	知的障害教育部門:高等部就業技術科 肢体不自由教育部門:小学部・中学部・高等部				④	就業技術科:「職業に関する専門教科」(4コース)による高い専門性の授業、現場実習等を通じた進路指導の充実	
報	学	級	数	副	籍	実	施	況	学	校	評	価	ホ	ム	ペ	ー	ジ	⑤	肢体不自由教育部門:ICT機器や支援機器を活用した児童・生徒の可能性の追求			
																		スクールバス	7台(中型7台) 医療的ケア通学専用車両(マイクロ車2台)			
報	そ	の	他	報	学	校	評	価	ホ	ム	ペ	ー	ジ	ホ	ム	ペ	ー	ジ	・令和元年度都立学校魅力PR動画「まなびゅ～」最優秀賞受賞 ・「東京都Good Coach賞」2年連続受賞	小・中学部43名中直接交流16名(平成31年度実績)	・回収率:生徒95%、保護者89%(前年度比5%上昇)、教職員100% ・両部門保護者肯定的評価:「学習指導」96%、「生活指導」92%、「進路指導」89%	http://www.mizumotokoai-sh.metro.tokyo.jp

目指す学校	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現に向けて、日本のインクルーシブ教育システム構築を推進する新たな特別支援教育の創造と発展に努めます。 ・児童・生徒の可能性を信じて、最大限に伸ばし、一人一人の夢や願いを実現し、将来はそれぞれの役割等に就いて、周りの人や社会に貢献できる人を育てます。
--------------	--

今年度の重点目標	今年度の取組と自己評価
-----------------	--------------------

目	○児童・生徒一人一人の可能性を追求し最大限に伸ばす学校	【就業技術科】各教科の指導内容において、職業に関する専門教科との関連を、年間10回の教科会の中で共通理解を図り、実践研究の成果として、公開研究会では10教科のポスター発表を行った。普通教科と職業に関する専門教科を関連させた指導を年間指導計画に位置付けることで、カリキュラムマネジメントにもなり、深い学びの実践となっている。
標	【就業技術科】職業に関する専門教科と各教科を関連させた指導内容の充実	【肢体不自由教育部門】地域生活、家庭生活、職業生活等における生活の質向上を目指した、研究授業の実施と成果発表
①		【肢体不自由教育部門】全学習グループにおいて外部専門家の助言を生かした研究授業及び協議会を実施、外部専門員によるアセスメント活用等学習会年間9回実施、オンラインを活用した遠隔現場実習実施、研究成果として公開研究会ポスター15本にまとめた。肯定的評価が90%を超えたものの、「分からない」の評価も一定数あり、更なる充実を図っていく必要がある。
目	○児童・生徒が「日々前進」し、未来を開くための力を付ける学校	【就業技術科】総合的な探究の時間を活用し、年間を通して生徒が社会貢献活動を企画・提案し、主体的に実践した。肢体不自由教育部門の児童・生徒のための読み聞かせ動画の作成や、校内清掃活動、地域緑化活動など多くの活動が行われ、生徒のボランティアマインドの醸成となった。
標	【就業技術科】社会貢献活動の実施とボランティアマインドの醸成	【肢体不自由教育部門】本校及び肢体不自由教育の理解充実に資する情報発信の計画化と実施
②		【肢体不自由教育部門】両教育部門合同のまなびゅ～を配信、校長メッセージと部門学習の紹介としてTwitter配信10本を実施した。教科学習、訪問学級、進路学習、外部専門員活用についてホームページによる情報を延べ21本を発信した。感染症防止対策として学校公開を中止とし、ホームページにおいてWeb学校紹介動画を掲載した。
目	○児童・生徒の「毎日真心」の気持ちや思いやりの心を育てる学校	【就業技術科】登校支援や校内支援会議の充実を図り、実態に即したきめ細かな支援を行った。また、クールダウンのためのスペースを設けたり、心理士相談を定期的に行ったりすることで、生徒が卒業後も安定した職業生活を送るための指導と支援を充実させた。丁寧なアフターケアにより、卒業生の定着率は、第1期生92、8%、第2期生92、1%、第3期生95、8%と高い水準を保っている。
標	【就業技術科】きめ細かな登校支援と出席率の向上及び第一・第二・第三期生のアフターケアの充実	【肢体不自由教育部門】高等部3年生進路先継ぎ用に、移行支援計画、介護業務手順書、給食指導カード、自立活動指導カードを作成し、移行支援会議における支援継ぎを充実させた。来年度以降の卒業生を見据え、本校の専門性を生かして進路先施設への医療的ケアに関する研修及び相談を実施した。
③	【肢体不自由教育部門】就学・進級・進学・卒業時の移行支援の充実	

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	(就)企業就労100% (肢)希望する進路実現100% ※(肢)H30年度～	100	100	100	100	100	100	100	99			
目標②	両部門のメリットを生かした教育の実施に関する満足度の向上(肯定的評価80%以上)					80	71.2	80	72			
目標③	学校公開(両部門)、就業技術科学科説明会、肢体不自由教育部門等の来校者数確保			1750	1900	1500	2000	1600	824			